

評価シート（年度評価）

名古屋市青少年文化センターの管理運営状況

1 基本情報 ＜所管局：観光文化交流局＞

指定管理者	名古屋市文化振興事業団・日本管財グループ		
主な業務内容	名古屋市青少年文化センターの管理		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和7年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	—	
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、第2音楽練習室以外の施設では利用率の目標値を達成することができなかったが、キャンセルとなった利用可能枠を積極的に周知して利用率の向上に努めたほか、利用が比較的少ない時期を使って、室名表示や視覚障害者向けの点字表示をよりわかりやすいものに更新した。施設事業では、若手アーティスト向けのセルフマネジメント講座と併せて発表の機会を設けることで、文化芸術活動の創造・発信を担う青少年の育成に尽力した。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

施設の現状

青少年文化センター

施設の現状	施設概要							
	芸術文化の創造及び芸術文化活動の交流の場を市民に提供することにより、青少年の芸術文化の振興に寄与するため設置された施設です。具体的には、ホールや練習室等施設の貸出や、青少年交流のためのオープンスペースの運営等を行っています。また、鑑賞機会や活動の場を提供する主催事業を実施しています。							
	市の収支状況(千円)（3年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	92,718	92,482	185,200	12	136,510	48,678	185,200	49,450
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	利用率(ホール)		%	96.5	88.3	53.6	66.8	
	収支率		%	85.2	85.3	84.0	79.8	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載